

令和 7 年 度 事 業 報 告

(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日)

公益財団法人永井科学技術財団の令和 7 年度(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日)における理事長の業務執行および事業内容について、以下のとおり報告いたします。

1. 「令和 6 年度事業報告・決算報告」に関する事項

理事長は、令和 6 年度（令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日まで）の事業報告、収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書・同内訳表、財務諸表に対する注記および令和 7 年 3 月 3 1 日現在財産目録の各案を作成し同 5 月 8 日に監事の監査・承認を受け、同日付で監査報告書を受領した。

なお、本内容は 5 月の理事会および 6 月の評議員会に付議された。

2. 「理事会」（書面決議）に関する事項

理事長は、定款第 3 9 条第 2 項に則り令和 7 年 4 月 2 日付で各理事に対して下記の決議事項を提案し、令和 7 年 4 月 9 日までに理事全員から原案に対する同意書が提出され、かつ監事より決議に対する異議が述べられなかったため、議案は原案どおり承認可決された。なお、理事長は同日付で理事会議事録を作成した。

決議事項

議案 寄附受入れの件

永井淳氏より当財団に永井譲氏の財産（新東工業株式 1 0 0 , 0 0 0 株）を寄附する旨の申し入れがあり、当財団はこの申し入れを受け入れ、寄附された株式を基本財産に繰り入れる。

3. 「理事会」（書面決議）に関する事項

理事長は、定款第 3 9 条第 2 項に則り令和 7 年 5 月 1 3 日付で各理事に対して下記の第 1 号から第 4 号の決議事項を提案し、令和 7 年 5 月 2 0 日までに理事全員から原案に対する同意書が提出され、かつ監事より決議に対する異議が述べられなかったため、全議案は原案どおり承認可決された。なお、理事長は同日付で理事会議事録を作成した。

決議事項

第 1 号議案 令和 6 年度事業報告（令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日まで）

第 2 号議案 令和 6 年度決算報告（令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日まで）

第 3 号議案 評議員の一部改選

第 4 号議案 令和 7 年度定時評議員会招集

・報告事項 令和 6 年度事業報告

・決議事項 (1) 令和 6 年度決算報告

(2) 評議員一部改選

4. 「定時評議員会」（書面決議）に関する事項

理事長は、令和 7 年年 5 月 2 0 日の理事会承認をもって令和 7 年 5 月 3 0 日付にて令和 7 年度定時評議員会を招集した。しかし、定款第 2 3 条に基づく評議員（1 2 名）の過半数（7 名）以上の出席が得られなかったため、定款第 2 4 条ならびに第 2 5 条に則り令和 7 年 6 月 2 0 日付で各評議員に対して下記の報告事項ならびに第 1 号から第 2 号

の決議事項を提案し、令和7年6月26日までに評議員全員から原案に対する同意書が提出されたため、報告事項ならびに全議案は原案どおり承認可決された。なお、理事長は同日付で評議員会議事録を作成した。

報告事項

令和6年度事業報告（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

決議事項

第1号議案 令和6年度決算報告（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

第2号議案 評議員一部改選（評議員会2名辞任、3名就任）

5. 「行政庁への事業報告」に関する事項

令和7年6月26日付の定時評議員会決議に基づき令和6年度事業報告を行政庁である愛知県へ令和7年6月26日に電子申請にて提出した。

6. 「役員の変更登記」に関する事項

令和7年6月26日付の定時評議員会決議に基づき役員の変更登記を令和7年8月17日に完了した。併せて、行政庁である愛知県へ令和7年8月18日に電子申請にて提出した。さらに、当財団ウェブサイトに関員名簿を掲載した。

7. 「令和7年度前期助成事業」に関する事項

前期助成金の公募を令和7年4月1日～5月11日の期間で実施した。当財団ウェブサイトにて募集要項を公開し、以下の申請を受け付けた。

（1）国際交流助成金	4件	
（2）大学院生海外研修助成金	4件	
（3）大学院生国際会議発表支援助成金	16件	
（4）大学院生論文投稿助成金	2件	
（5）科学技術育成教育助成金	8件	
（6）企業化支援助成金	1件	
（7）モノづくり実践支援助成金	4件	合計39件

8. 「選考委員会による審査および審議結果」に関する事項

前項における令和7年度前期助成事業の応募申請に対し、各選考委員が令和7年5月15日から6月8日まで書類審査を行った。その結果から大槻選考委員長が採択候補案を作成して選考委員に提案し、書面決議による同意書が6月20日まで選考委員全員から提出されたため、以下が採択され理事会に付議することが決定した。

（1）国際交流助成金	4件	
（2）大学院生海外研修助成金	4件	
（3）大学院生国際会議発表支援助成金	9件	
（4）大学院生論文投稿助成金	2件	
（5）科学技術育成教育助成金	7件	
（6）企業化支援助成金	1件	
（7）モノづくり実践支援助成金	4件	合計31件

9. 「理事会」（書面決議）に関する事項

理事長は前項の選考委員会の決定を受け、定款第39第2項、3項に則り令和7年6月

25日付で各理事に対して下記の報告及び決議事項を提案し、令和7年6月30日までに理事全員から原案に対する同意書が提出され、かつ監事より決議に対する異議が述べられなかったため、報告事項及び議案は原案どおり承認可決された。なお、理事長は同日付で理事会議事録を作成した。

報告事項

令和7年度前期助成事業の交付選考の件

決議事項

令和7年度前期助成金の交付承認の件〔助成金額 総額1,400万円〕

(1) 国際交流助成金	4件	200万円
(2) 大学院生海外研修助成金	4件	200万円
(3) 大学院生国際会議発表支援助成金	9件	450万円
(4) 大学院生論文投稿助成金	2件	100万円
(5) 科学技術育成教育助成金	7件	280万円
(6) 企業化支援助成金	1件	50万円
(7) モノづくり実践支援助成金	4件	120万円

10. 「令和7年度前期助成金交付」に関する事項

前項決議に基づき、各助成先に対して交付決定通知を行うとともに交付申込書の提出を求め、助成金を交付した。

11. 受賞者報告会の開催に関する事項

令和7年7月22日に令和6年度財団賞受賞者の研究報告会を新東工業株式会社内の会場にて実施した。

12. 「理事会」に関する事項

理事長は、令和7年11月3日付にて理事会を招集した。これにより、令和7年11月13日に名古屋市内の「ステーションAi」にて対面とWeb会議で開催した。

理事(6名)、監事(2名)が出席のもと下記事項が理事長より報告され、出席者全員に了承された。令和7年11月13日付で理事会議事録を作成した。

報告事項

令和7年度上期の事業報告および収支状況報告の件

13. 受賞者交歓会の開催に関する事項

理事長は、当財団の交流事業である「令和6年度受賞者講演・交歓会」を令和7年11月13日に名古屋市内の「ステーションAi」で開催することを決定し、令和7年9月18日に受賞者および財団関係者に案内をして開催した。

講演会は、前年度学術賞受賞者の【名古屋大学 医学系研究科 特任講師 佐藤和秀 氏の「ケイ素フタロシアニン錯体の光ナノ複合医療応用・医工連会開拓」と特別講演として【産業技術総合研究所 中部センター 所長 堀田裕司 氏の「産総研中部センターが進める材料開発の紹介」】に講演いただいた。

また、講演会後の交歓会では受賞者と財団関係者の間で活発な意見交換が行われた。

1 4. 「令和7年度後期公募（財団賞、奨励金、助成金）」に関する事項

令和7年9月1日～10月31日までの2ヵ月間、当財団ウェブサイトにおいて公募を行い、合計50件の応募申請を受け付けた。

- (1) 財団賞の申請・・・・・・・・・・13件
- (2) 奨励金の申請・・・・・・・・・・18件
- (3) 助成金の申請・・・・・・・・・・19件

1 5. 「選考委員会による審査および審議結果（後期公募）」に関する事項

前項における令和7年度財団賞、奨励金、助成金の応募申請50件につき選考委員全員の査読審査を経た後、令和8年1月20日に選考委員会を開催した。選考委員の審議・審査の結果、以下の47件が採択され、理事会に付議した。なお、同日付で、選考委員長より審議・審査結果書の提出とともに選考委員会議事録が作成された。

(1) 財団賞

学術賞に産業技術総合研究所・三木恒久氏をはじめ5件、技術賞に名古屋市工業研究所 相羽^{もとひろ}誉礼氏をはじめ3件、奨励賞に名古屋大学 仙場^{ふたん}胡丹氏をはじめ3件の計11件を採択

(2) 奨励金

研究奨励金にファインセラミックスセンター・植松昌子氏をはじめ8件、融合研究奨励金に産業技術総合研究所・ビヤン ミンジェ氏をはじめ3件、モノづくり試作研究奨励金に名古屋芸術大学・澤邊^{みく}美駒氏の1件、素形材のデジタル化研究奨励金に産業技術総合研究所・藤岡正弥氏の1件、カーボンニュートラル研究奨励金に愛知工業大学・竹内和歌奈氏をはじめ4件の計17件を採択

(3) 助成金

国際交流助成金に名古屋大学・テイ シルイ氏をはじめ2件、大学院生海外研修助成金に名古屋工業大学・田原成美氏の1件、大学院生国際会議発表支援助成金に名城大学・小林倫太郎氏をはじめ8件、科学技術育成教育助成金に豊田工業高等専門学校 殿をはじめ4件、モノづくり実践支援助成金に名古屋大学・機械航空宇宙工学科 殿をはじめ4件の計19件を採択

1 6. 「理事会」に関する事項

前項の選考委員会による令和7年度財団賞、奨励金、助成金の採択結果に基づき、定款第39条第2項および第3項に則り、令和8年1月30日付にて各理事に対し選考委員会審議結果の報告とともに本件の決定についての議案を提案、理事全員から原案に対する同意書が提出されたため、交付対象者に助成することを令和8年2月3日付で承認可決した。なお、理事長は同日付で理事会議事録を作成した。

財団賞の交付金額は、学術賞100万円/件、技術賞70万円/件、奨励賞70万円/件の計920万円。

奨励金の交付金額は、研究奨励金50万円/件、融合研究奨励金50万円/件、モノづくり試作研究奨励金50万円/件、素形材のデジタル化研究奨励金50万円/件、カーボンニュートラル研究奨励金50万円/件の計850万円。

助成金の交付金額は、国際交流助成金50万円/件、大学院生海外研修助成金50万円/件、科学技術育成教育助成金4件で120万円、モノづくり実践支援助成金30万円/件の計790万円。

合計2,560万円の交付として決定した。

17. 「令和7年度後期助成金の交付」に関する事項

令和8年2月3日の理事会決議に基づき、令和7年度財団賞、奨励金、助成金交付者に対し交付決定通知を行うとともに交付申請書の提出を求め、その申請に基づき各交付者に助成金を交付することとした。

18. 「令和7年度助成事業の実績等」に関する事項

当年度事業における財団賞、奨励金、助成金については、助成計画3,680万円に対し、総額3,960万円(78件)の助成実績となった。

19. 「令和7年度財団賞、奨励金、助成金の贈呈」に関する事項

本件については、令和8年2月3日の理事会決議に基づき、令和7年度財団賞受賞、奨励金、助成金の各受賞者に対し、令和8年2月5日付で決定を通知した。なお、財団賞及び奨励金の贈呈式は令和8年3月13日に名古屋市内の「ホテルルブラ王山」にて行った。

20. 「理事会」に関する事項

本件は、令和8年3月13日に名古屋市内の「ホテルルブラ王山」にて開催し、下記事項についての報告および議案審議を行った。

報告事項

- (1) 令和7年度事業報告の件
- (2) 令和7年度収支決算見込み報告の件

決議事項

- 第1号議案 令和8年度事業計画の件
- 第2号議案 令和8年度収支予算の件
- 第3号議案 令和7年度余剰金を基本財産へ繰入れる件
- 第4号議案 創立45周年記念誌制作実行の件

以上